

承認番号	4動薬第2784号
販売開始	2024年11月

貯法 2～8℃

(体外診断用医薬品)

犬NT-proANP検査キット

チェックマン[®] NT-proANP

【特徴】

チェックマン[®] NT-proANP は、イムノクロマト法を使用した心臓バイオマーカー NT-proANP レベルの判定用キットであり、血漿中の NT-proANP レベルを少量の血漿にて短時間で簡易的に検出することが可能である。

【成分及び分量】

- 検査用カード (1枚当たり)
 - 抗 NT-proANP マウスモノクローナル抗体 0.1～0.5 µg
 - 抗マウス IgG ウサギ抗体 0.005～0.5 µg
 - 白金ナノコンポジット標識抗 NT-proANP マウスモノクローナル抗体 0.6～1.0 µg
- 展開用溶液 2 mL
- 1%牛血清アルブミン加 2-Amino-2-hydroxymethyl-1,3-propanediol (アジ化ナトリウム 0.1% 未満を含む)
- 色見本カード 1枚

【使用目的】

犬血漿中の心臓バイオマーカー NT-proANP レベルの判定

【使用方法】

(1) 使用検体

犬の EDTA 処理血漿

(2) 使用手順

- 検査用カード及び展開用溶液を使用前に室温 (10～35℃) に戻す。
- 検体 20 µL を検査用カードの検体滴下部に滴下後、速やかに展開用溶液を滴下ボトルで 2 滴加える。
- 室温 (10～35℃) で 20 分間静置後、目視判定を行う。

(3) 目視判定

判定窓内の判定ラインと参照ラインにおける黒色のラインの発色を目視で判定する。

① 正常

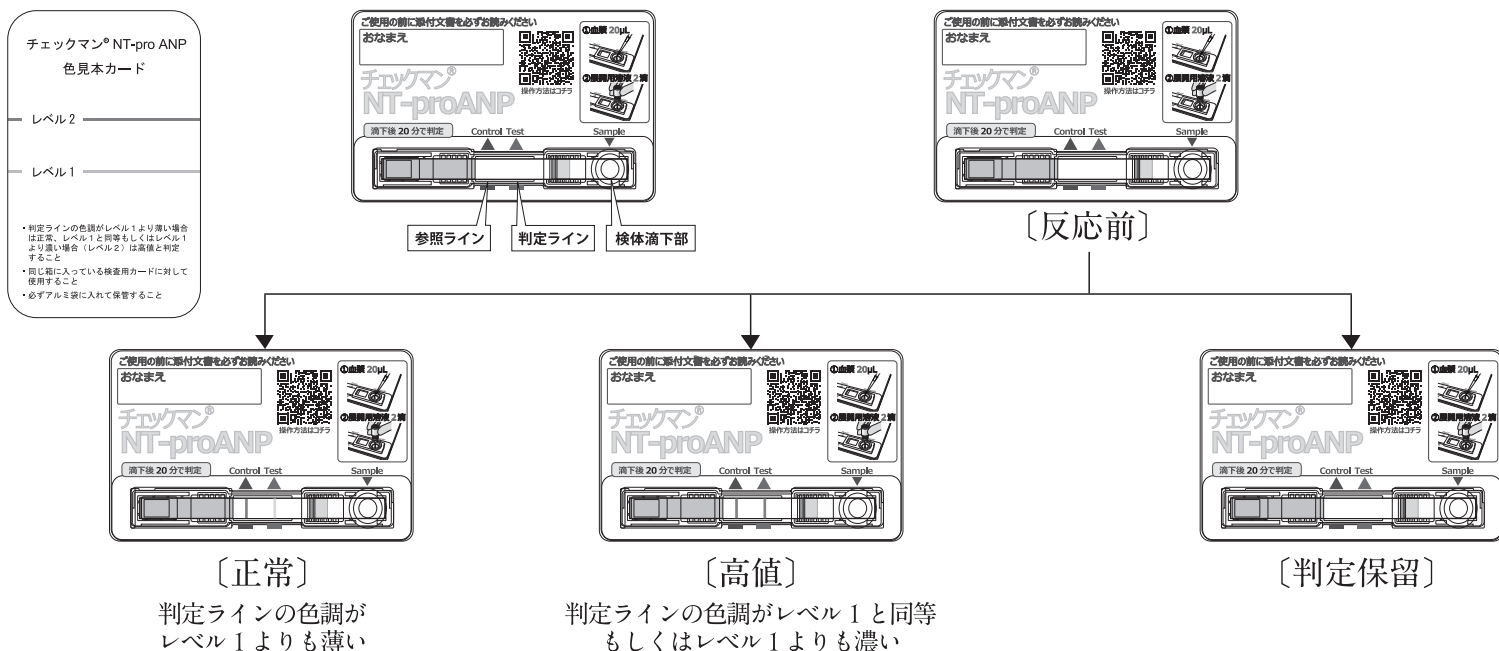
参照ラインのみに黒色のラインが出現した場合、又は判定ラインに出現した黒色のラインが色見本カードのレベル1の色調よりも薄い場合は正常と判定する。

② 高値

判定ラインと参照ラインに黒色のラインが出現し、判定ラインの色調が色見本カードのレベル1の色調と同等もしくはレベル1の色調よりも濃い場合は高値と判定する。

③ 判定保留

参照ラインが出現しなかった場合は判定を行わず再試験を実施する。



◀ 操作方法の動画は Web サイトにてご確認ください。
https://www.kyoritsuseiyaku.co.jp/products/ca_1.html

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・定められた使用方法を厳守すること。
- ・使用目的において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本キットは犬用の動物用体外診断用医薬品であるため、その他の動物に使用しないこと。

(使用者に対する注意)

- ・本キットに付属されている試薬の取扱いには十分注意すること。
- ・検査は清潔な環境下で行い、試薬及び検体同士の混入あるいは試薬の雑菌汚染に注意すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・保管温度を厳守すること。
- ・異なる製造番号の試薬を組み合わせ使用しないこと。
- ・検査用カード及び展開用溶液は、室温(10～35℃)に戻して使用すること。
- ・検査用カードは開封後、速やかに使用すること。吸湿により反応が正常に進まない可能性がある。
- ・色見本カードは、環境の影響などにより色に変色する可能性があるため、使用後は必ず専用のアルミ袋に戻し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
- ・検体は、新鮮な EDTA 処理血漿もしくは当日中に冷蔵保管した EDTA 処理血漿を用いること。血清や全血は使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・使用済みの検体、検査用カード及び展開用溶液等は、地方公共団体条例等に従い適切に処分すること。

(特別な注意)

- ・正確な測定結果を得るために、検体のピペティングは慎重に実施すること。また、ピペットなどの使用器具については定期的にメンテナンスを実施すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・展開用溶液を滴下する際は、滴下ボトルを垂直に保つこと。
- ・検体滴下部、判定部の膜に触れたり傷つけたりしないこと。
- ・判定時間 20 分を厳守すること。20 分を経過してしまった場合は、正しい測定結果が得られない場合がある。
- ・展開用溶液が皮膚に付着したときは、石けん等でよく洗うこと。炎症が生じた場合には、直ちに医師の診断を受けること。
- ・展開用溶液が眼に入った場合には、多量の水で洗眼すること。炎症が生じた場合には、直ちに医師の診断を受けること。

(取扱い上の注意)

- ・正確な判定結果を得るために、検体を量り取る際は、ピペットを用いて正確に 20 μ L 採取し、滴下すること。
- ・展開用溶液は、検査終了後速やかに冷蔵庫に戻すこと。
- ・検査中は常に検査用カードを水平に保つこと。
- ・犬の血液が手指に付着し、感染等の可能性があるため、検査時には手袋を着用するなど、検体の取り扱いには十分注意すること。

(専門的事項)

その他の注意

- ・本キットの最小検出感度は、薬物治療の開始の目安となる心拡大の有無を識別するカットオフ値に設定している。「高値」を示した場合、心疾患が進行している可能性が高く、心エコー図検査などの追加検査が推奨される。「正常」を示した場合、現時点で中等度～重度の心疾患の可能性は低く、定期的な検査が推奨される。「正常」と「高値」の判断に迷った際は、「高値」である可能性を考慮し、各種検査を推奨する。
- ・本キットの結果のみを用いて心疾患の確定診断や重症度判定をしないこと。NT-proANP は健常犬の血漿にも含まれるタンパク質であるため、健常犬においても判定ラインの発色を示す可能性がある。疾病の診断に当たっては、本キットの判定結果だけでなく、臨床徴候、身体診察所見、心エコー図検査などの画像診断の所見を総合して獣医師が判断すること。
- ・NT-proANP は常温で分解が進むことから、採血後直ちに室温にて血漿に分離し検査を実施すること。血漿分離後すぐに検査を実施しない場合は直ちに冷蔵保管すること。
- ・血漿 NT-proANP 濃度は主に心筋に負荷がかかることで上昇する。心疾患であっても心筋に負荷がかかっていない場合は上昇しないので、注意すること。
- ・NT-proANP は腎臓から排出されるため、腎疾患においては排出が阻害され、血漿 NT-proANP 濃度が上昇することがある。
- ・高血圧、甲状腺機能亢進症及び輸液療法等の体液量を増加させる作用のある医薬品の投与により、心臓の負荷が増大し、血漿 NT-proANP 濃度が上昇する可能性がある。
- ・アメリカ獣医内科学会 (ACVIM) のガイドラインのステージ分類におけるステージ C 及びステージ D に該当する症例及び利尿剤の投与などによる肺水腫の治療を行っている症例においては、血漿 NT-proANP 濃度が低下する可能性があるため、正しい結果が得られない可能性がある。

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL : 03-3264-7556

【包装】

1 キット 5 テスト分

®登録商標

製造販売業者



共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-6-5

製造業者



アドテック株式会社
大分県宇佐市上田1770-1

ANP02-2410